

## 総合文化センター大規模改修基本設計について



※本資料の記載内容は基本設計段階のものであり、  
今後の実施設計で変更になる可能性があります。

# 1. 施設計画の概要

## (1) 基本設計主旨

この基本設計は、川口総合文化センター改修基本計画にある3つの方針を確実に実現すると同時に、新美術館の基本計画に挙げられている整備目的を実現するためものです。

JR 川口駅西口駅前の重要な場所に位置し、これまでは舞台芸術の中心拠点であった川口総合文化センター・リリアに加えてと、新しく計画する新美術館との一体的な活動により、川口市全体にとっての舞台芸術と造形芸術を統合した、文化芸術の総合拠点となる必要があります。

## (2) 川口総合文化センター大規模改修に関して

### 大規模改修設計方針と主な検討項目

川口総合文化センター改修計画（2020年）にある3つの方針

1. 劇場施設としての安全性を確保するとともに長期的な施設運営を可能にする改修
2. 利用者ニーズ、社会情勢の変化に対応できる改修
3. 市民サービスの停止期間を最小限にとどめ、経済的にも効率的で効果的な改修

上記の内容を踏まえ、以下の項目などについて、現状の課題を考慮しつつ具体的な検討を実施した。

- ・メインホール、音楽ホール、アトリウム天井の特定天井改修
- ・各ホールの音響性能、客席の快適性などの機能向上
- ・ホワイエトイレの規模やレイアウト見直し
- ・エントランスホール、アトリウム、ロビー、共用エリアに関する改修
- ・施設の機能レイアウト変更や室用途の変更およびそれにとまなう改修
- ・メインホールホワイエにエレベーター新設、メインホールホワイエ1階客席中通路へのバリアフリールートの整備、その他の段差解消、手すり新設などのバリアフリー改修
- ・設備システムの見直し及び設備更新など

### 「変えること」と「変えないこと」の的確な選択

川口総合文化センター・リリアの持つかけがいのない個性を確実に保存し、同時に未来に向けて変えるべきところを集約して変える。培われ積み重ねられてきたこれまでのリリアの活動や評価を継承しさらに発展させるための改修、さらに今後のより積極的な活動のために必要な変化を加える改修を行う。

### 魅力あるエントランスホール・アトリウム・ロビーへ

1階のエントランスホール、2、3、4階アトリウムおよびその周囲を、新しい総合文化芸術拠点の核として重点的に検討。このエリアを、川口西公園全体の中心的活動・滞在スペースとして、市民が日常的に集い、豊かで文化的な時間を過ごしたり、様々な人々が一定時間滞在できる空間の快適性、居住性を検討した。また多様な場所で簡単なイベント、ワークショップ、展示、物販等の活動を開催することが可能なように今後も検討を加える。

- 絵画、彫刻類は基本的に撤去し改めて市民活動の受け皿、活動の現場としてのしつらえを重視
- 各ホールの存在感を高め、入口がすぐわかる劇場の正面の顔をつくる検討
- 2階を基本に簡単な飲み物サービスが行える機能を検討し、2、3階が日常的な人々の滞在空間となるよう検討  
同時に開園前の多数の人々が長蛇の列を作る場所としての機能を果たすよう、対応すべき備品計画につなげる

### メインホール・音楽ホールは現状の空間をさらに洗練させる

メインホールや音楽ホールは30年の歴史のなかで一定の顧客（貸館利用者・鑑賞者）が定着している。市民に親しまれてきたホールの機能はそのままに、その魅力の継承を徹底しつつ、さらなる現代的特色を加える。特定天井対策は、意匠保持と安全性の観点から準構造化を行い、響きの質などのさらなる音響性能向上を目指す検討を今後も継続して行う。

### (3) 川口総合文化センター建物概要

施設名称：川口総合文化センター

竣工年月：平成2年6月

所在地：川口市川口3丁目188-151、152

延床面積：35,984 m<sup>2</sup>

規模：地上14階 地下2階 塔屋1階

構造：S造、SRC造

高さ：地上83.6m 地下11.0m

### (4) 事業概要

#### 整備スケジュール

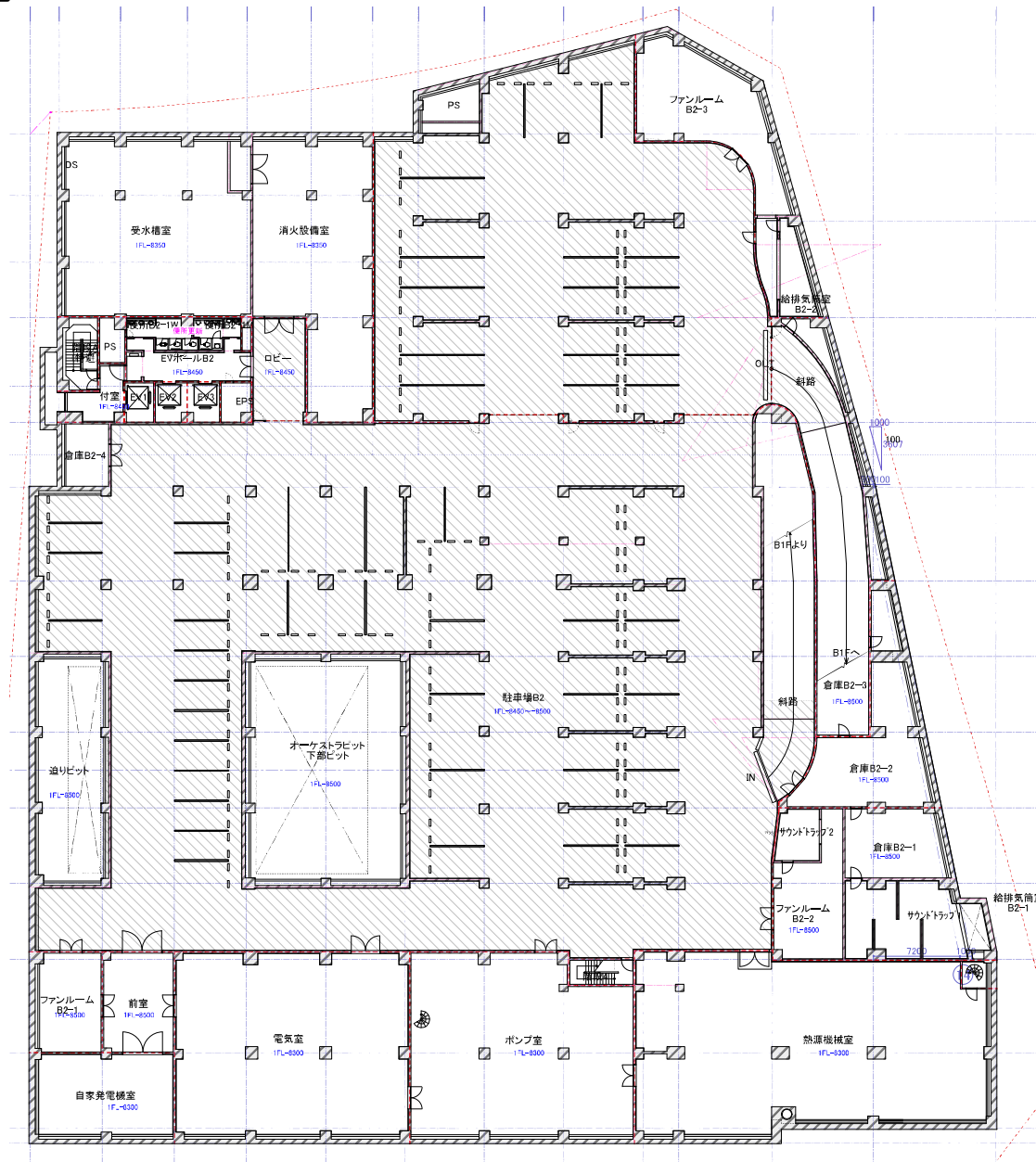
実施設計：令和5年度

工事：令和6年度～7年度

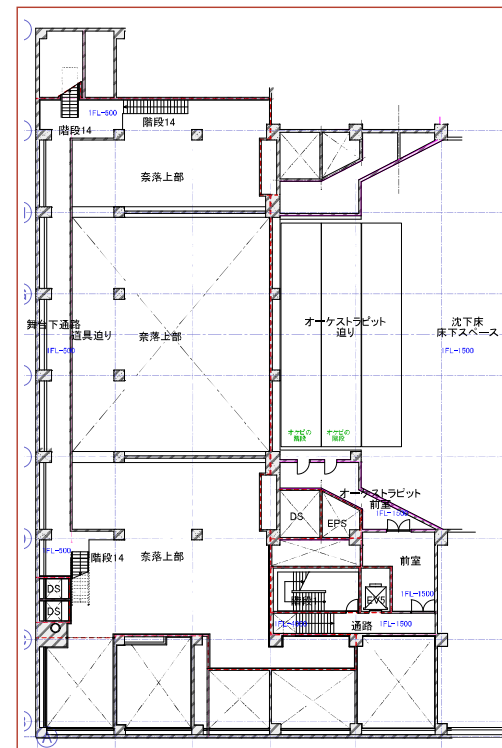
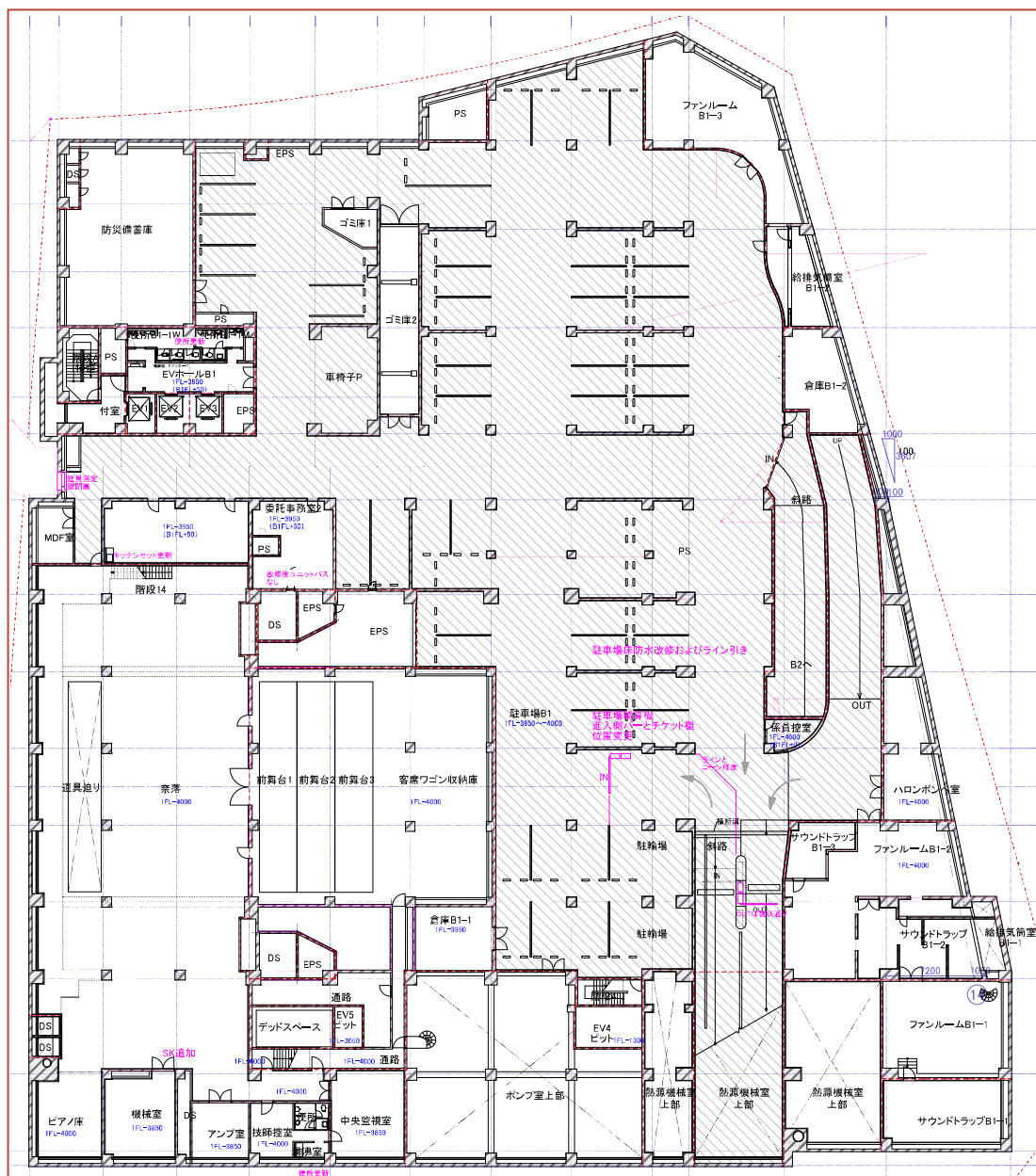
竣工：令和7年12月



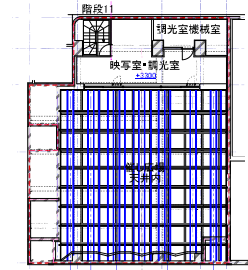
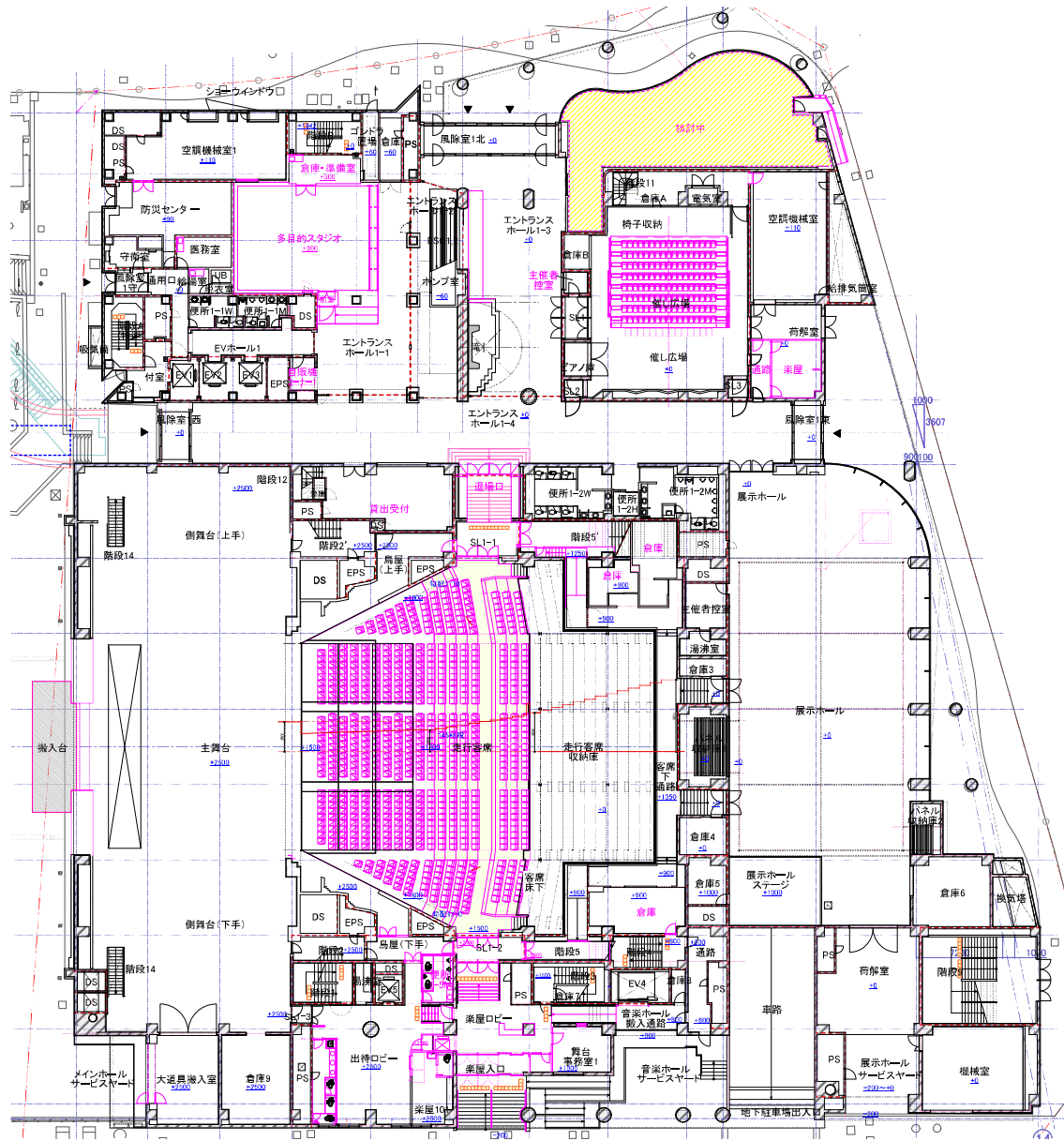
## 2. 平面計画



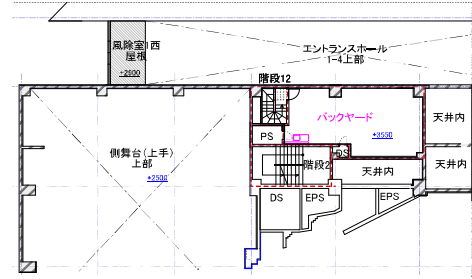
**B2F**  
(改修後)



**B1F**  
(改修後)



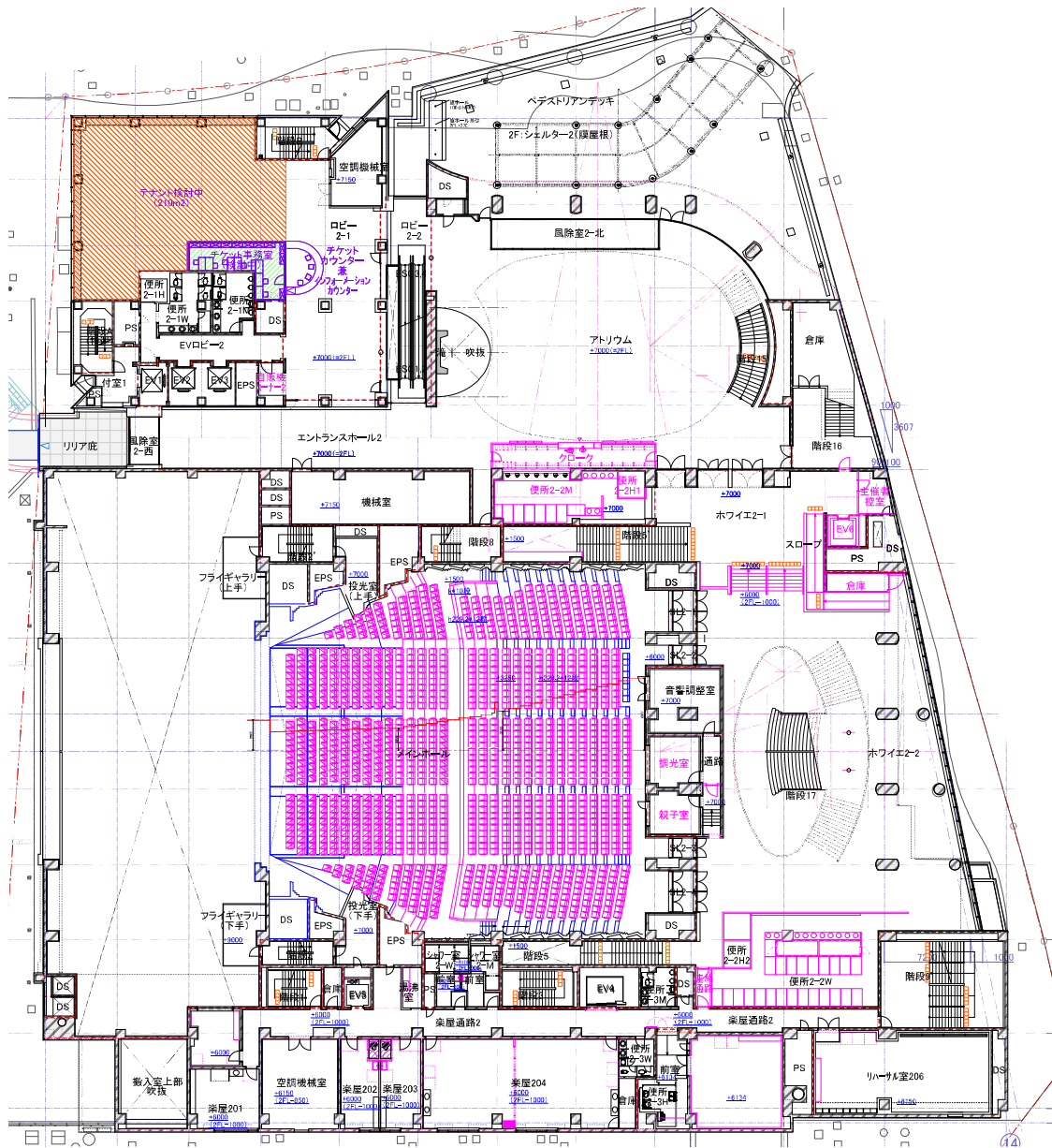
催し広場上部  
調整室M2階平面図



川口地区労働基準協会  
M2階平面図



1F  
改修後

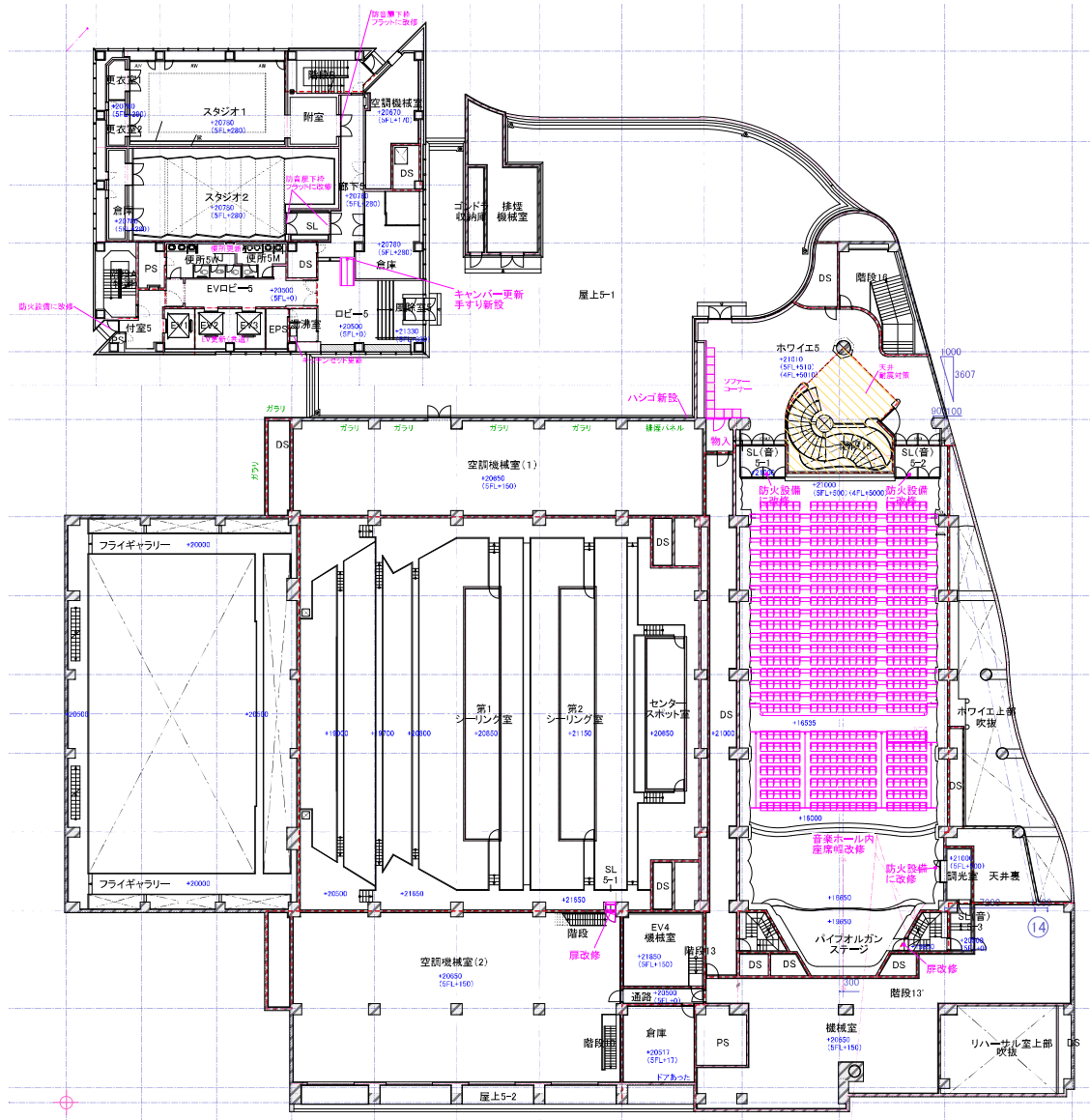


2F  
改修後





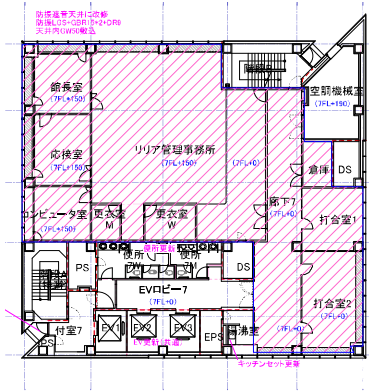




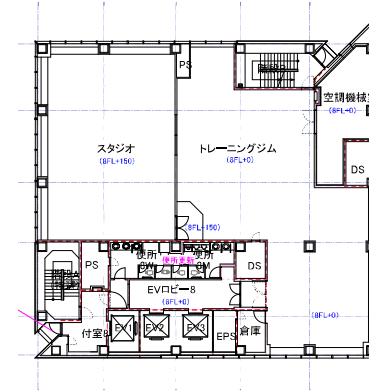
5F  
(改修後)



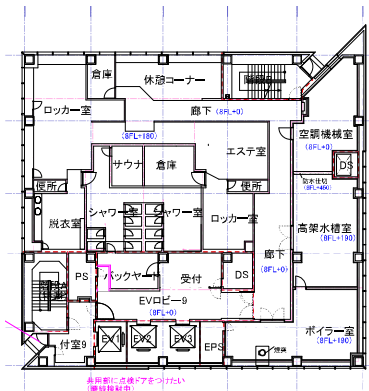




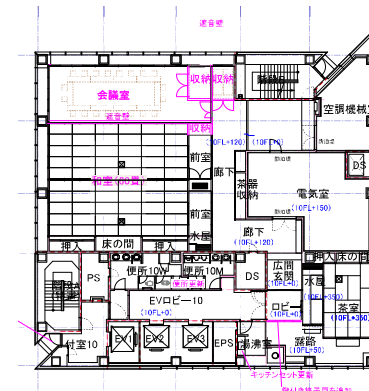
7F 7FL+0=1FL+28900



8F 8FL+0=1FL+33100

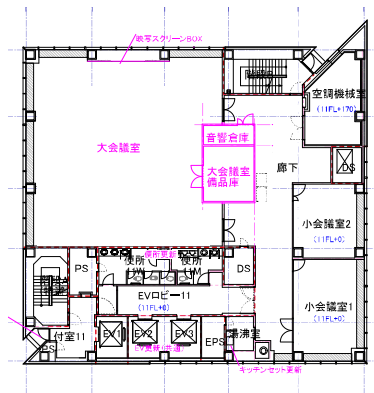


9F 9FL+0=1FL+37300

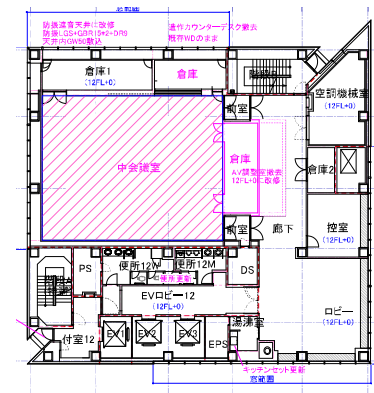


10F 10FL+0=1FL+41500

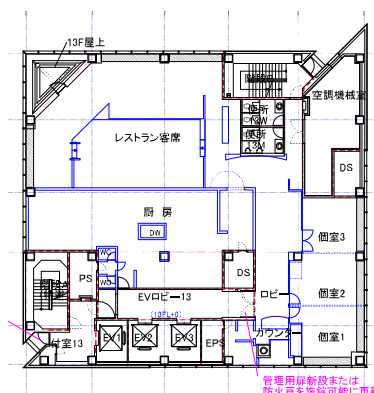
7~10F  
(改修後)



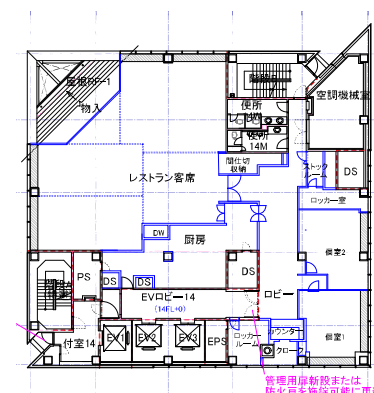
11F 11FL+0=1FL-45700



12F 12FL+0=1FL-49900

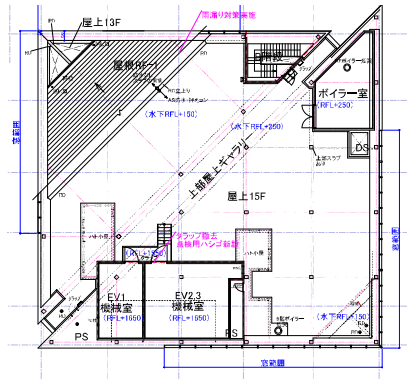


13F 13FL+0=1FL-54100

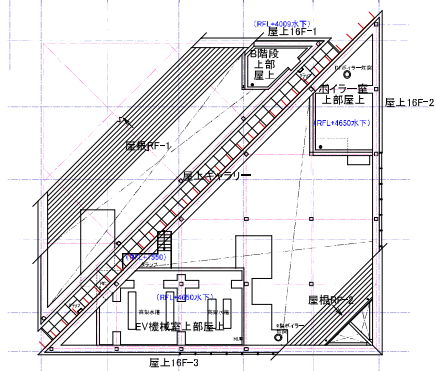


14F 7FL+0=1FL+28800

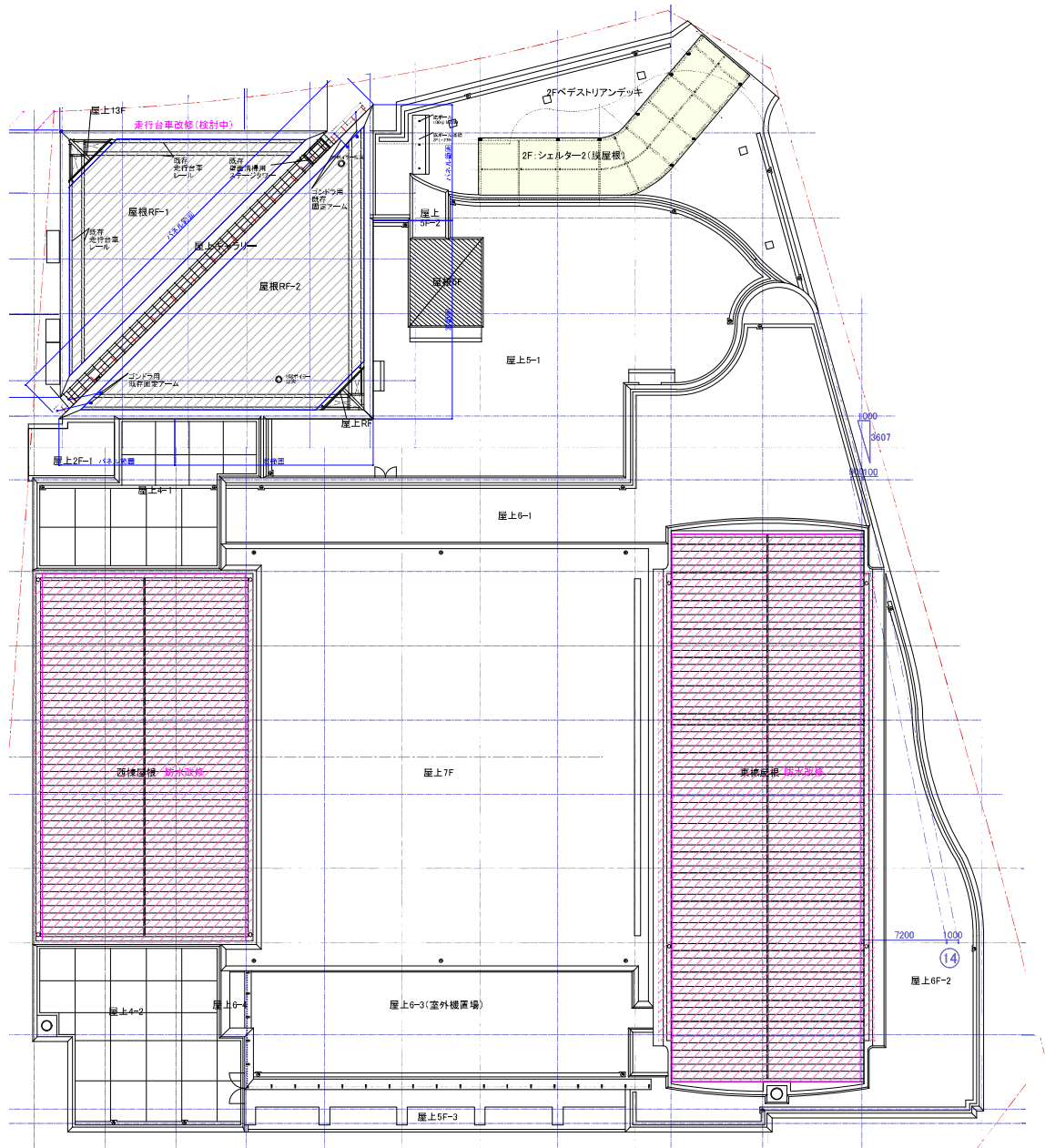
11~14F  
(改修後)



RF 12FL+0=1FL+49900

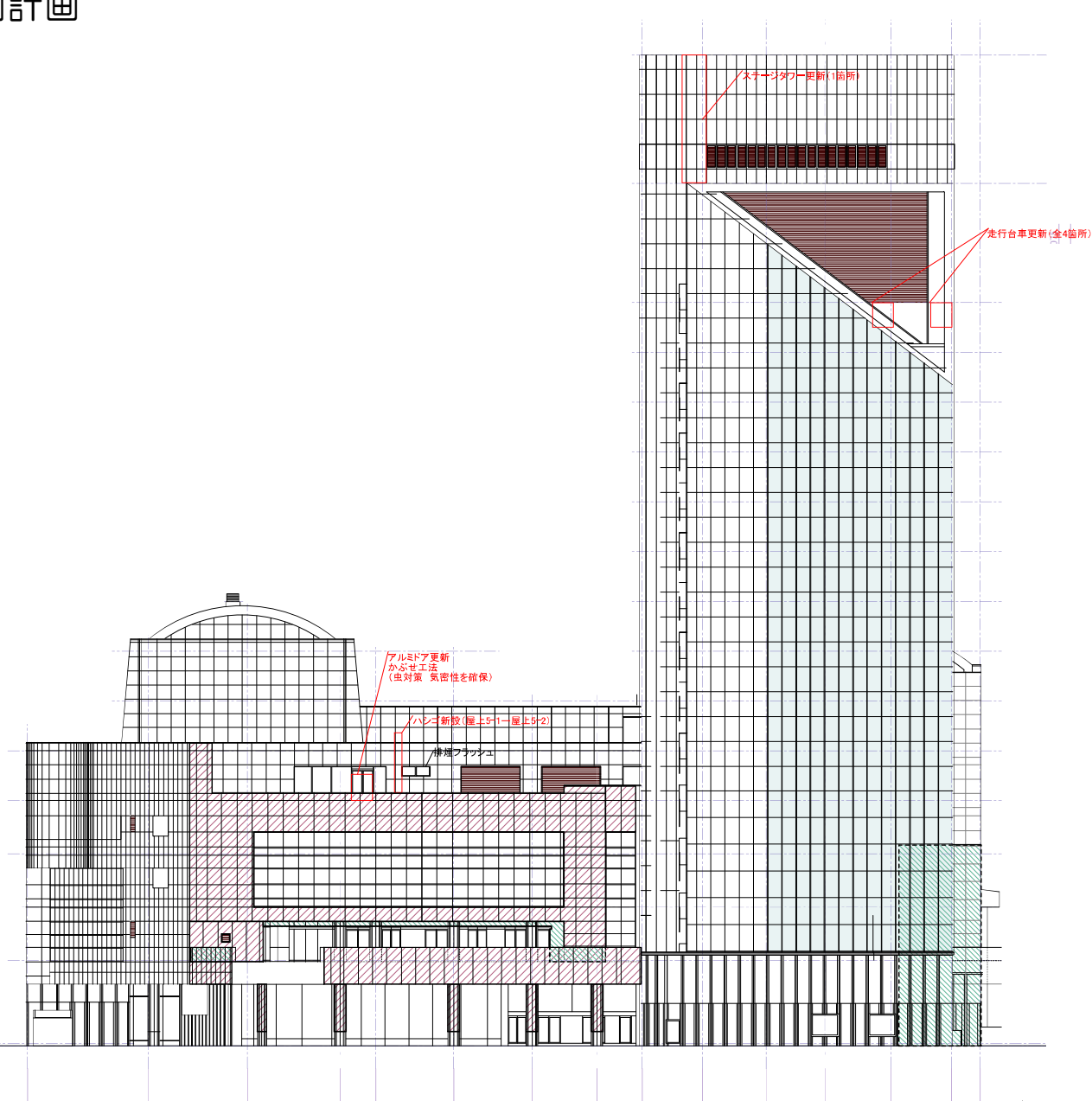


RF上部

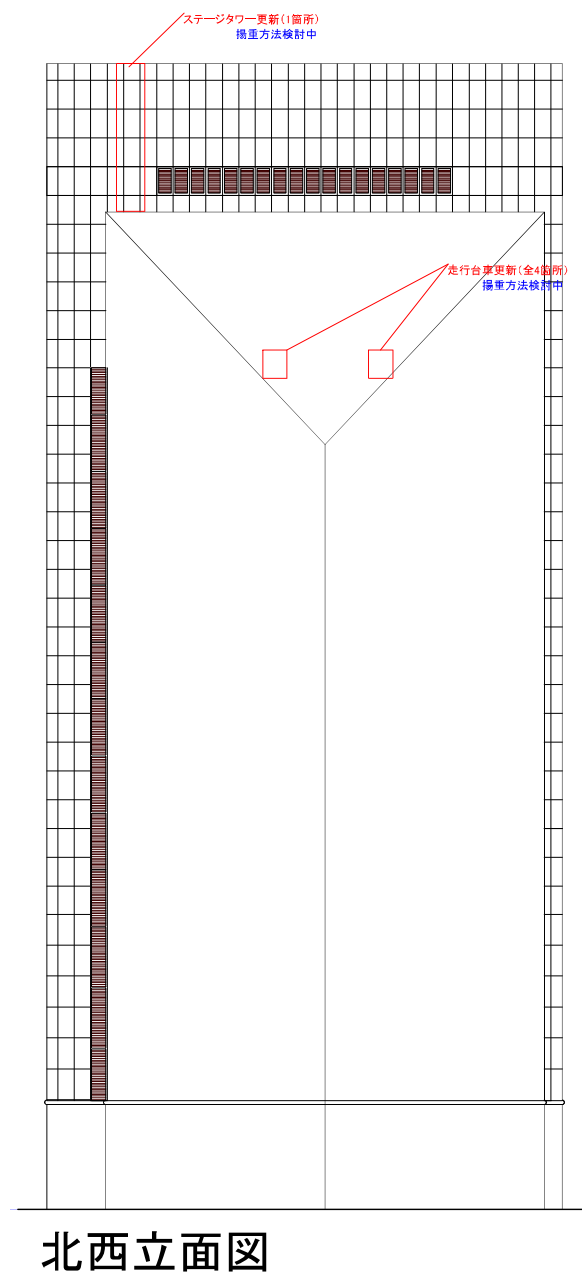


RF (改修後)

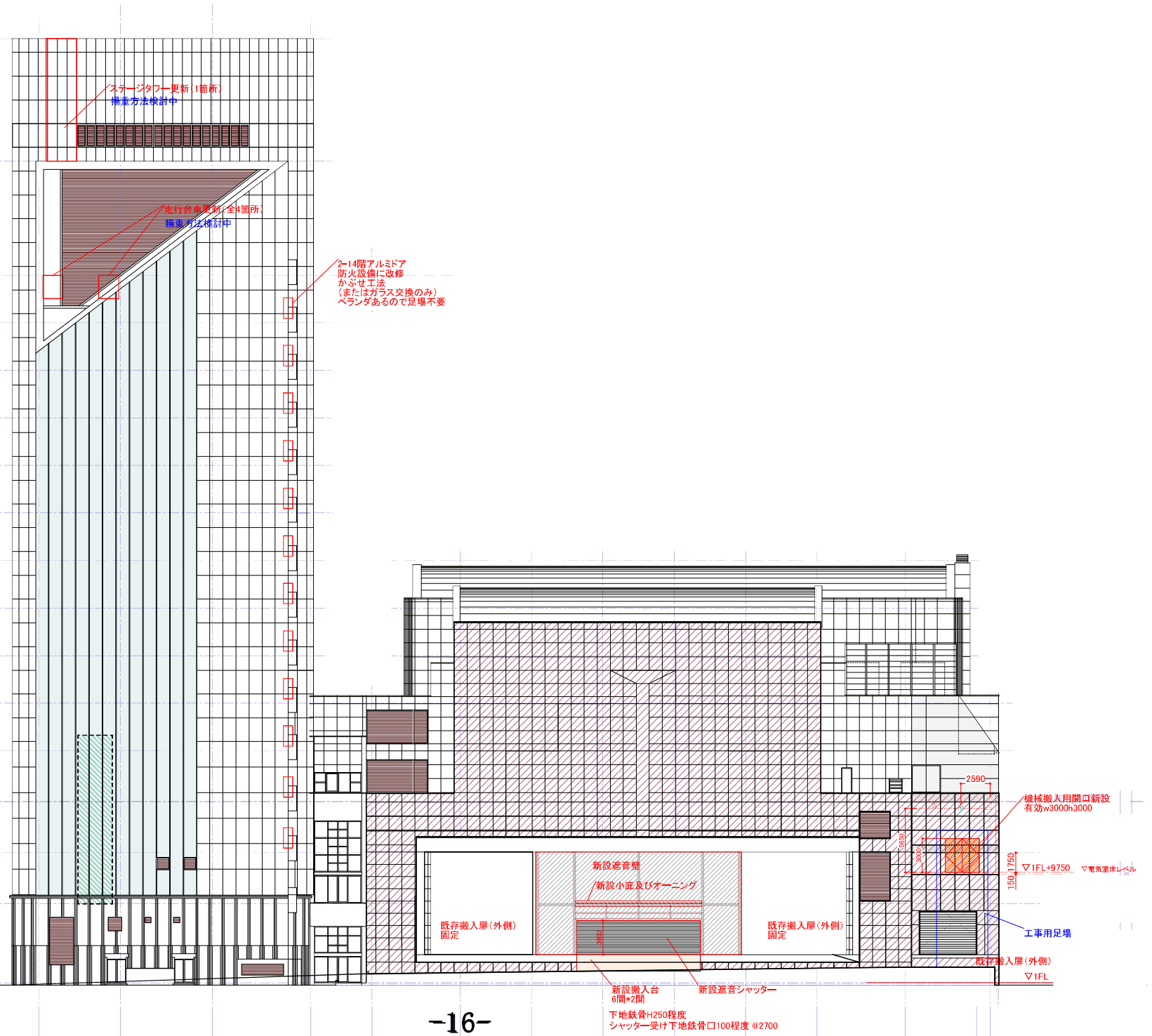
### 3. 立面計画



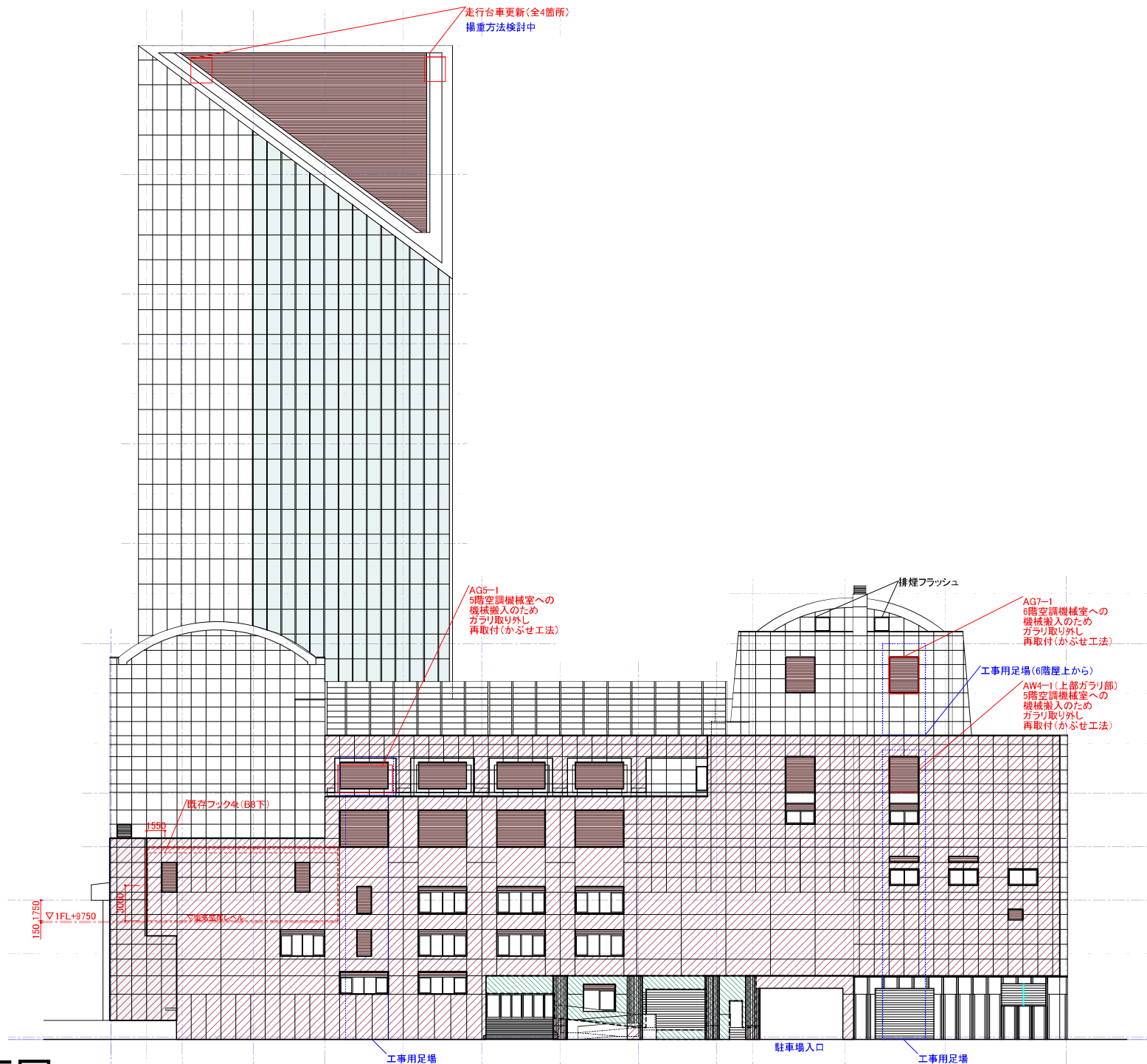
北立面図



北西立面図

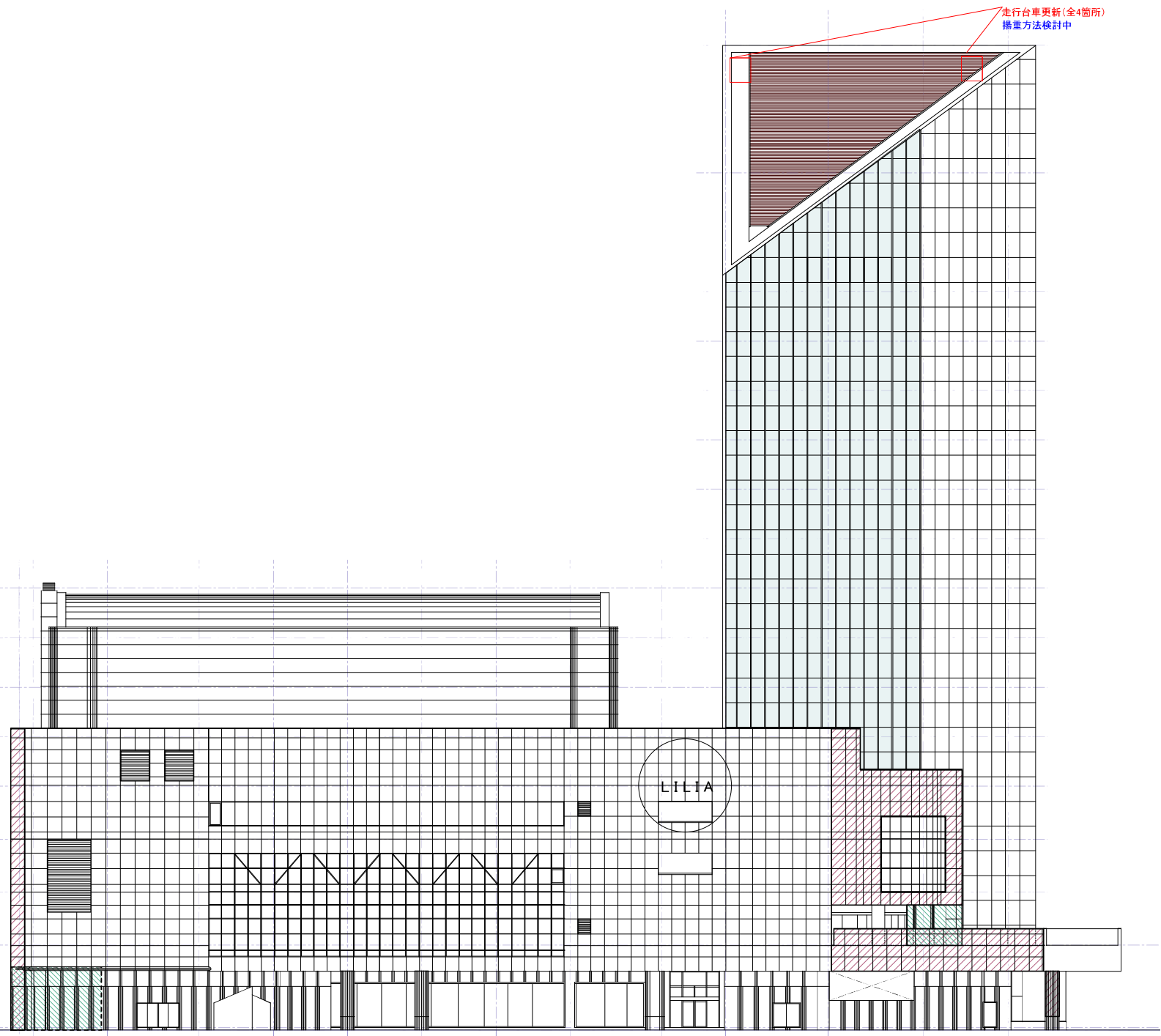


西立面図



南立面図

走行台車更新(全4箇所)  
揚重方法検討中



東立面図

## 4. 建築工事計画

### (1) 特定天井の耐震改修（※）

### (2) 昇降機工事

- ・エスカレーター、エレベーターの制御リニューアル工事
- ・メインホールホワイエ2-3F間にバリアフリー対応のエレベーターを新設

### (3) 内装工事（メインホール）

- ・ホワイエトイレ増設
- ・授乳室の整備
- ・客席の椅子の幅、座席レイアウトの変更
- ・楽屋の改修
- ・壁、床の改修

### (4) 内装工事（音楽ホール）

- ・ホワイエトイレ増設
- ・授乳室の整備
- ・客席の椅子の幅の変更
- ・楽屋の改修
- ・壁、床の改修



※特定天井とは？

- 脱落によって重大な危害を生ずるおそれがあるものとして国土交通大臣が定める天井（建築基準法施行令 第39条第3項）
- 次の天井のうち、次のいずれにも該当するもの
  - ✓ 居室、廊下その他の人が日常立ち入る場所に設けられるもの
  - ✓ 高さ6mを超える天井の部分で、その水平投影面積が200㎡をこえるものを含むもの
  - ✓ 天井面構成部等の単位面積質量（1㎡当たりの質量）が2kgを超えるもの

（平成25年8月5日 国土交通省告示第771号）

## 5. 設備計画

### (1) 電気設備設計概要書

#### 電気設備計画基本方針

- コスト（イニシャル・ランニング）削減の配慮
- 環境への配慮（更新ケーブルのエコ化等）
- 運用設備、防災設備、警報設備の集中管理の改善
- 既設機器の騒音、電圧不足など問題点の改善
- 市民にとって魅力ある施設への更新提案（照明、情報表示設備等）

#### 設備項目

- 受変電設備工事
- 動力設備工事
- 電灯設備工事
- 構内交換設備工事
- 構内情報通信網設備工事
- 備品管理設備工事
- 拡声設備工事
- 監視カメラ設備工事
- 電気時計設備工事
- インターホン、トイレ呼出表示設備工事
- テレビ共同共聴設備工事
- 自動火災報知設備工事
- 情報表示設備工事
- 工事用仮設電源設備工事

## (2) 機械設備設計概要書

### 機械設備計画基本方針

- 省エネルギー、環境計画
- 節電計画
- 安全、安心、災害対策
- 保全業務への配慮
- 振動対策
- 長寿命化

### 設備項目

- |          |        |
|----------|--------|
| • 空気調和設備 | • 排水設備 |
| • 換気設備   | • 給湯設備 |
| • 機械排煙設備 | • 消化設備 |
| • 自動制御設備 | • ガス設備 |
| • 衛生器具設備 | • 滝設備  |
| • 給水設備   |        |

## (3) 舞台設備設計概要書

### 舞台設備計画基本方針

- 経年劣化を改善し、機器の安全性を確保
- 機能劣化の改善及び操作性の向上
- 将来的な設備使用仕様の変化に対応
- 施設全体で舞台音響設備の互換性、バックアップ機能を担保

## 6. アトリウム・エントランス計画

### (1) 運用に対する具体的な整備内容

- ホワイエの仕様は、劇場の快適性に大きく影響するため、現在の運用状況を十分調査しつつ、課題を解決しつつ理想的なホワイエの実現を実現
- 家具備品計画は、内装と一体的に調和し、運用に適した計画
- 手荷物預かりサービスは、クロークを設置して対応
- 遅れてきた観客のための待機場所を計画

### (2) もぎりエリアの再整備

- 招待客対応、チケット預かり、障害者対応などの確かつ機敏に果たすことができるよう、表と舞台裏との連絡設備を充実させる
- グランドロビーとホワイエは、双方がフレキシブルに空間を運用できるように、建具や家具などの間仕切りの仕様を検討

### (3) 案内サインの再整備（施設内の「分かりにくさ」の改善）

- 各施設へのアクセスが現状ではわかりにくい
- 既存の掲示物、備品、展示物を一斉に整理し、必要なものを分かりやすく再配置
- 適切な場所に、適切な誘導サインを設置し、各施設への有効な案内サインを計画

具体的な対策 1：点灯式 LED 施設サイン

具体的な対策 2：床での誘導サイン

具体的な対策 3：デジタルサイネージ、イベント掲示板の整備